

平成21年4月6日

学校だより

～ 塩っ子の夢と希望を育むために ～

No.1

高松市立新塩屋町小学校

TEL 851-2011

FAX 851-2059

e-mail e-sinsio@edu-tens.net

平成21年度のはじまりにあたって

校長 池田 保

本校の歴史を見つめてきた正門を満開となったさくらが美しく飾ってくれた4月1日、人事異動等により8名の教職員を本校に迎えました。そして、4月6日、1学年進級した子どもたちが、元気よく目を輝かせながら登校し、新しい年度であり最後の塩っ子教育がスタートしました。9日の入学式では、27名の新1年生を迎えることになっていますので、全校児童が164名になる予定です。

学校は子どもたちの笑顔や歓声が絶えることのない所であってほしいと願っています。しかし、学校の統合や9年間を見通した小中一貫教育の推進が大きく動き出し、本日、高松第一中学校の開校式が挙行されました。そして、平成22年4月には、本校と築地小学校・松島小学校が統合し、四国では初めての公立の小中一貫校が開校することになっています。保護者の皆様や地域の方々の小学校に対する思いを深く受け止めながら、教職員一同、一人一人の子どもたちにしっかりと向き合い、子どもたちに生きる力（確かな学力、豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力）を育てていく魅力ある学校づくりに努めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。



《本年度の塩っ子教育の重点等について》

2月13日、次年度の学校運営について説明させていただきましたが、新しい学習指導要領改訂の趣旨・これまでの塩っ子教育や小中一貫教育の成果をふまえつつ、統合といった本校の置かれた状況の中で、目の前の子どもたちに確かな力を身につけていくことが重要であると考えています。

子どもたちの学校生活の基盤は、それぞれの学級だといえます。認め合い・支え合うなかまづくりを核とした学級づくりを子どもたちとともにしっかりと考え合っていきます。そして、実践を通して、「自分の役割をやり遂げる子ども」・「自分で考え、実行する子ども」、「自分のよさに気づくとともに、友だちのよさを見つけ、ともに学級として高め合おうとする子ども」、「学級や学校のために役立とうとする子ども」といった子どもをめざしていきます。

その学級づくりを基盤として、①学び合う学習を通しての確かな学力の育成（その学年での基礎的基本的な知識・技能の確実な習得とその活用、学習意欲の向上）②豊かな心の育成（多様な教育活動を通して、自分が好き・塩っ子のなかまが好きといった、自己理解・相互理解に基づく望ましい集団形成）を今年度の重点と考えています。そして、本校最後の1年が終わった時に、「楽しい思い出がたくさんつくれました」「塩っ子のなかまと過ごせてよかった」「新塩屋町小学校が大好きです」という子どもたちの声が聞けることを願っています。

なお、本年度の塩っ子教育の実践の経過については、この紙面や団だより等の各種たよりでお知らせするとともに、1日学習参観デーや行事を通して、保護者の皆様や地域の方々に発信してまいります。地域の中の学校として、子どもたちの夢や希望、生きる力を育てていくには、学校と家庭・地域の連携が欠かせないと考えておりますので、学校の応援団としてのご意見等を遠慮なくお聞かせください。

